

故郷で「ただいま！」～天童よしみ、50周年の「帰郷」に決意も新た！

今年歌手生活 50 周年を迎えた歌手・天童よしみが、故郷・大阪府八尾市での凱旋公演を開催した。

「のど自慢あらし」として活躍した少女時代の天童を育んだ故郷・八尾市は、歌手・天童よしみのまさに原点。市内の実家は「天童御殿」として地元の名所ともなっているなど故郷との絆は強い。「50周年という節目で改めて原点を見つめ直す、そんな想いを新たにしました」と、八尾市文化会館リニューアルオープン記念に華を添え、詰めかけた昼夜満員のファンに「ただいま！」と呼びかけた。

記念コンサートのステージ上では、ポルノグラフィティや、いきものがかりの楽曲制作・プロデュースで知られる音楽プロデューサー・本間昭光プロデュース・作編曲による50周年記念第2弾シングル『帰郷』の発売も発表された。J ポップの分野で数々のヒット曲・話題曲を送り込んできたトップクリエイターが、演歌界の女王・天童よしみと真っ向勝負で作り上げた意欲作の発売となり、天童自身も「50周年を迎えた私にとっての、これからを表現する新しい一歩になりました」と新たな挑戦へ意欲満々。

実は本間自身も天童と同郷・八尾市出身であり、同じ小中学校の先輩・後輩、ご近所同士の間柄。同郷の縁で交流を深める中、天童よしみ50周年を機に今回の企画が実現することとなった。「レコーディングでは地元あるあるで盛り上がってしまいました。私と本間さんというジャンルのまったく違う二人が同じ景色を思い浮かべながら1つの楽曲を作り上げていくことに、何だか不思議な感動がありました」。

『帰郷』の作詞は、日本のポップス・ソウル音楽を牽引する音楽プロデューサー・松尾潔が書き下ろした。「50周年の感謝の気持ちや、故郷への想いを、松尾さんがわかりやすく代弁してくれた気がします」と、これもまたジャンルの違う異色の初顔合わせに大きな刺激を得たという。

新曲『帰郷』は9月21日発売。「この新曲をスタートに、故郷がつかない新しい絆から、新しい天童よしみも見せていきたい」と次なる展開へ希望を膨らませた。

(本間昭光コメント)

天童さんは僕の小中学校の直接の先輩に当たります。
もちろん僕が子供の頃からご活躍をされていて、
当に地元が誇る星でした。
その天童さんから今回このように貴重な制作のお声掛けをいただけたことは、今でも
本当に夢のようです。
天童さんの 50 周年を祝うべく皆様に長く愛される楽曲を生み出したいと全力を尽くしま
した。
どうかリリースを心待ちにしていただければ幸いです。

本間昭光

(松尾 潔コメント)

天童さん、デビュー50周年おめでとうございます。
今回プロデューサーの本間昭光さんからのお声がけで、初めて作品を提供する栄に
浴しました。レコーディング現場にご一緒させていただき、その歌声、お人柄、佇まい
……どれをとっても代えがきかない存在であることを痛感しています。この国を代表
するソウルシンガーと言い切ってしましましょう。
次の 10 年、いや 50 年もどうぞお健やかに。ぼくたちの耳と心をずっと震わせてくださ
い！

松尾 潔
